

神戸市におけるエイズ対策の 取り組みについて



神戸市保健福祉局健康部(保健所)予防衛生課
森 喜平

神戸市とエイズのかかわり

時期	内容
昭和62年1月	神戸エイズパニック わが国で初めての日本人女性エイズ患者が神戸で報告 (全国にさきがけ) HIV抗体検査を匿名・無料で開始
平成17年7月	第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議を神戸 で開催 70カ国4,500人参加
平成17年12月	エイズボランティア団体の活動支援組織「エイズ予防サ ポートネット神戸」設立
平成18年7月	エイズ患者、HIV陽性者の治療、支援を目的に、県内の病 院連携、医療従事者・在宅ケア支援者等のネットワークと して「神戸エイズネットワーク連絡会」を発足

神戸市のHIV検査

1. 夜間HIV検査（予約不要）平成16年～

【検査日】毎週水曜日（祝日も実施）18:00～20:00受付

【検査内容】HIV（エイズ）、梅毒（定性）、クラミジア

【場所】三宮センタープラザ西館（中央区）

2. HIV即日検査（要予約）平成18年～

【検査日】月1回指定の土曜日（5月、7月、12月は2回）

13:00～14:00受付

【検査内容】HIV（エイズ）

【場所】三宮センタープラザ西館（中央区）

3. 各区役所検査（予約不要）昭和62年～

【検査日】月1～2回指定の平日時間内

【検査内容】HIV（エイズ）、梅毒、B型肝炎、C型肝炎

【場所】各区役所

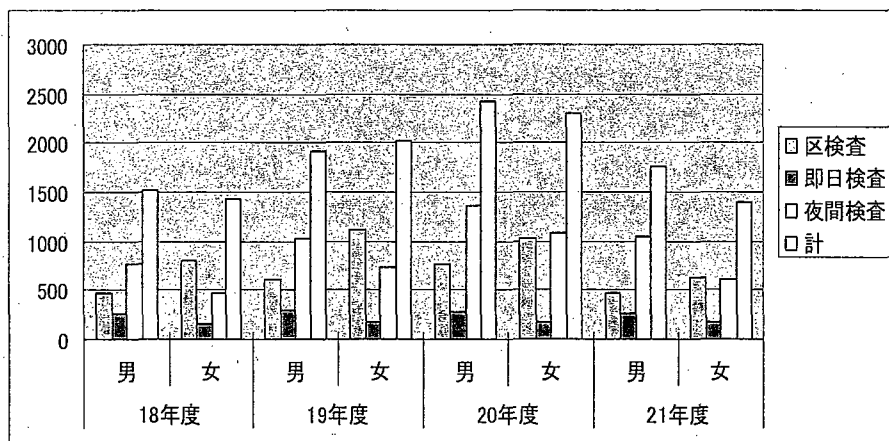
神戸市のHIV検査結果

上段：検査件数、下段：陽性件数

	18年度	19年度	20年度	21年度
各区	1,264	1,724	1,807	1,102
	4	2	3	3
即日	425	462	467	421
	2	2	1	0
夜間	1,244	1,759	2,435	1,649
	1	7	3	4
計	4	11	7	7
	2,933	3,945	4,709	3,172

* 陽性者は、21年度の区の検査で1名女性があったほかはすべて男性

HIV男女別検査件数



神戸市のHIV・エイズ発生届

	17年	18年	19年	20年	21年
AIDS患者	3	12	3	6	4
HIV陽性者	10	14	13	18	15
計	13	26	16	24	19

※昭和61年～累計では、AIDS患者56件、HIV陽性者119件
計175件(うち女性15件、外国籍12件)

神戸市におけるHIV検査の課題

1. 匿名検査の課題

- ・匿名のため、陽性告知後の支援が難しい。
- ・即日検査以外の結果説明は翌週になるが、陽性判定で結果を受け取りに来ない場合が想定される。

2. 即日検査の課題

- ・判定保留(疑陽性)の場合、翌週の結果判明まで不安な状態が続く。

3. その他

- ・即日検査以外は予約不要のため、検査希望者が多い場合に十分カウンセリングができない。
- ・ハイリスク(男性同性愛者等)への検査につながっていない。
- ・陰性結果に安心し、カウンセリングをしても予防行動につながらない。

神戸市のエイズ予防啓発活動

1. 市立中学生を対象としたデリバリ授業

3年生を対象に行政医師による性教育
エイズとSTI予防啓発冊子「知っとこホンマのこと」の活用
(他に、私立中学、高校、大学等でも依頼を受けて実施)

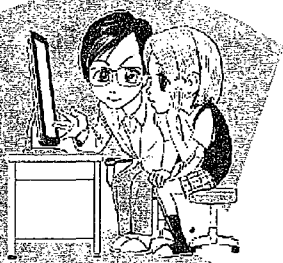
2. 神戸ICCAP記念エイズ予防月間

アジア・太平洋地域エイズ国際会議を記念して毎年7月に各種啓発イベントを開催

3. 世界エイズデー予防啓発

4. エイズ予防サポートネット神戸による活動支援

知って、 ホンマのこと



性感染症とエイズ
(STD・STI) (HIV/AIDS)



中高生等学生向け

男性同性愛者向け

知って、ホンマのこと
For Gay Friends

✂ エイズは、本当に防ぎにくい病気です



HIVにならなかったら、いま、どうなっていたか
そして、HIV(+)になっていると伝えている
日頃の生活とそんなに変わらないんですよ。
ただ、ちょっとHIV(+)だけ

神戸市保健所
BASE-KOBE

エイズ予防サポートネット神戸

1. 設立趣旨

- ・ 平成17年7月「第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議」を神戸で開催。
- ・ 会議の中で、エイズ対策には、NGO等のボランティア活動の果たす役割が大きく、行政とNGOとのパートナーシップが重要と指摘。
- ・ ボランティア活動を支援するために「エイズ予防サポートネット神戸」を平成18年12月に設立。

2. 活動内容

- ・ ボランティア活動に対する支援(助成金の交付)
- ・ エイズ及び性感染症予防啓発に関する情報の収集・発信

3. 組織

- ・ 事務局は神戸市保健所予防衛生課
- ・ 運営委員会(医師会、歯科医師会、薬剤師会、商工会議所、神戸新聞社等)と幹事会(市課長級等)で構成

エイズ予防サポートネット神戸の活動支援状況

内容	18年度	19年度	20年度	21年度
イベント	6	3	5	2
研修・啓発	5	6	7	3
相談	2	2	1	2
計	13	11	13	7

イベント: 大学祭、コンサート等

研修・啓発: ピアカウンセリング、勉強会、研修会等

相談: 電話相談、メール相談等

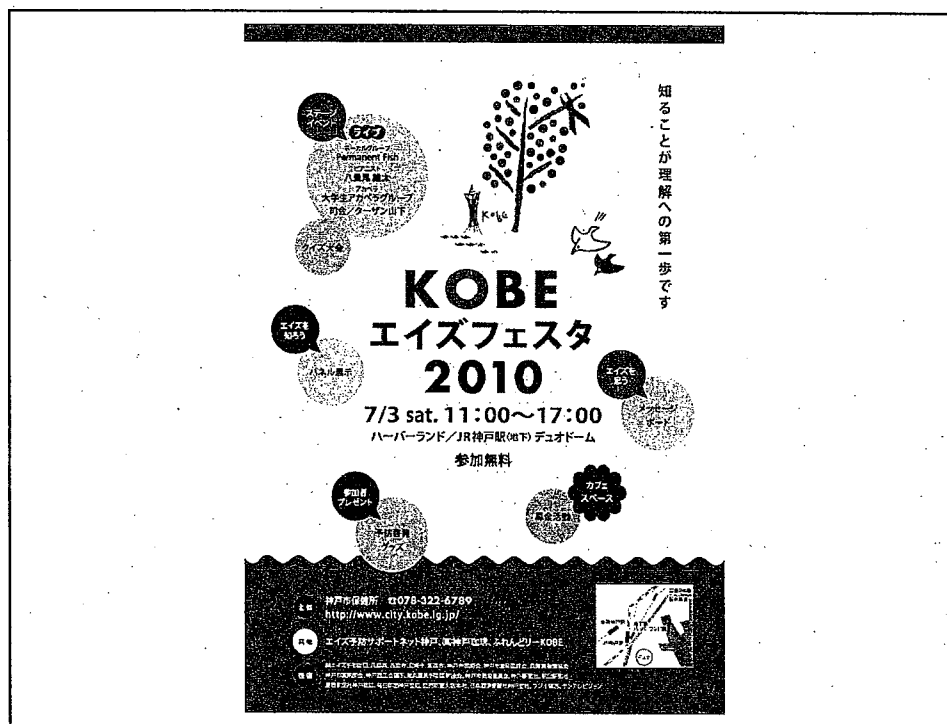
注) 平成21年度の件数が少ないのは新型インフルエンザの影響のため

エイズ予防サポートネット神戸の課題

- ・活動の広がり難しさ
ボランティア団体の活動の継続性、拡大が難しい。
- ・市民参加の難しさ
エイズに対する関心が低い。
- ・財源確保の難しさ
本会は、会員の会費を財源としているが、会員の確保が難しい。
(平成22年度会員10団体、会費収入31万円)
神戸市から100万円の補助金

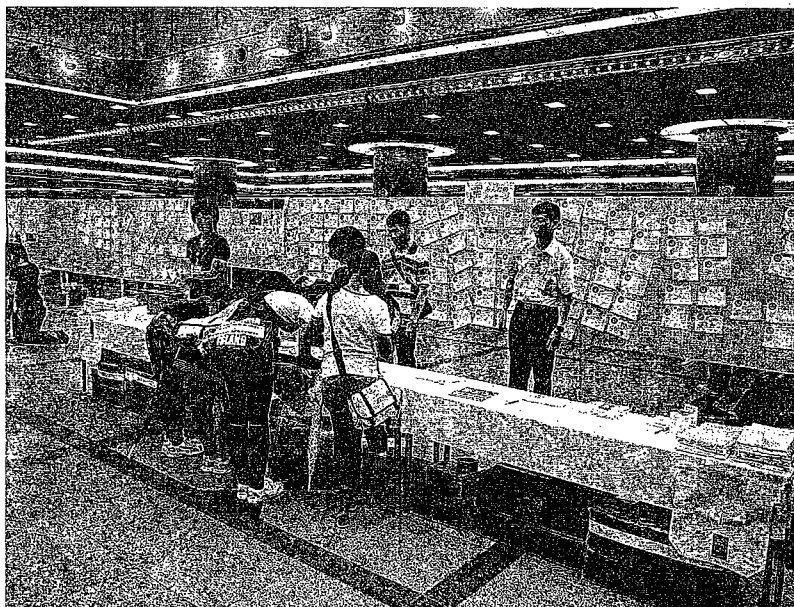
支援を行った活動事例

1. 思春期ピアカウンセリング
(ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会)
 - ・ピアカウンセラーの養成及び中学、高校におけるピアカウンセリング
2. HIV陽性者支援
(BASE KOBE)
 - ・感染告知の際に手渡す支援者カードをとおした電話、メール相談への対応
3. RED RIBBON FESTA
(SHIP)
 - ・ステージイベントで、クイズ、映像をとおしての若者への啓発
4. 「静かに迫りくるHIV～神戸からの報告」出版
(BASE KOBE・エイズ予防サポートネット神戸)









K BE
エイズフェスタ
2010

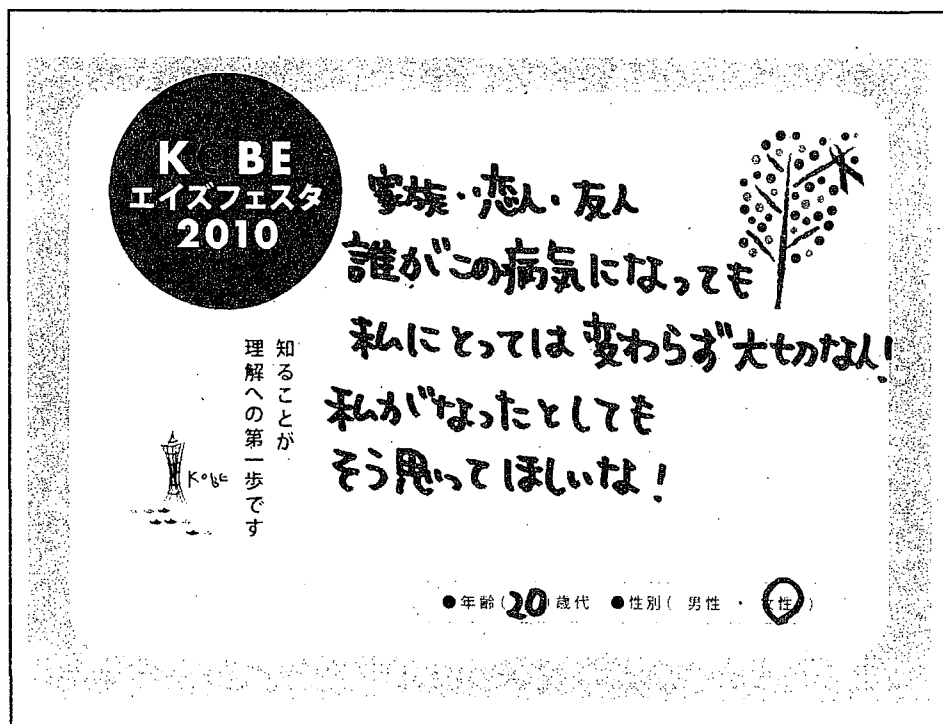
知ることが
理解への第一歩です



世の中すべて巡り巡って
います。自分に関係ない
ことはありません。
まずは関心を持つこと。
いつかそのことが人の為に
役立つことにつながるのでは
ないでしょうか。エイズに関心を
持つこと。それし同様です。



●年齢(40)歳代 ●性別(男性)・女性)



世界エイズデー記念シンポジウム(予定)

1. 平成22年11月23日(土)

HIV陽性者就労支援シンポジウム
職場とエイズ 仕事も生活も続けよう

2. 平成22年12月5日(土)

HIVと人権シンポジウム
エイズ教育

ご清聴を感謝します。
(市役所花時計をレッドリボンで)

